

**(一社)日本リモートセンシング学会 第75回(令和5年度秋季)学術講演会
発表プログラム**

陸域1 (A会場, 11月21日(火) 10:00-11:30)		
A	1	SBAS法による北部九州地域における地すべりリスクの観測および地質学的考察 水落 裕樹・宮崎一博・阿部朋弥・星住英夫・川畑大作・岩男弘毅・松岡萌・宮地良典(産業技術総合研究所)
A	2	中国石門県におけるPSInSARで得られた地すべりによる地表面変位と降水量の関係について Yixuan Liu・木下 陽平(筑波大)
A	3	高周波域のアンラップ精度の向上とその応用:ALOS-2/PALSAR-2を用いた2016年北カナタベリ-地震の地殻変動の抽出 吉永 誓也・島田 政信(東京電機大学)
A	4	熊本地震における建物被害とコヒーレンスの関係の偏波や画素サイズの影響 ○野中 崇志・朝香 智仁(日本大学)
A	5	SAR干渉コヒーレンス解析におけるサンプリング窓の時間方向への拡張 夏秋 嶺・西館 嘉郎(東京大学)・大木 真人(宇宙航空研究開発機構)・青山 定敬(日本大学)・田殿 武雄(宇宙航空研究開発機構)・廣瀬 明(東京大学)
A	6	GNSSを用いたInSAR大気遅延補正モデルの開発 ○木下 陽平・下妻 康平(筑波大)
陸域2 (A会場, 11月21日(火) 13:10-14:25)		
A	7	HISUIハイパースペクトルセンサを用いた太陽光パネルの分光反射特性分析 ○畠田 将貴(東京大学 生産技術研究所・産業技術総合研究所)・水落 裕樹(産業技術総合研究所)・竹内 渉(東京大学 生産技術研究所)
A	8	2022年度版日本域高解像度土地利用土地被覆図の作成に関する事前検討 平山 颯太・田殿 武雄・水上 陽誠・大木 真人(JAXA)・奈佐原(西田)顕郎・伊藤駿(筑波大学生命環境系)・平出 尚義・今村 功一・佐竹 峻・大串 文美(RESTEC)
A	9	光学・SAR衛星データに対する高精度な教師・検証データを低コストで取得するためのRIL及び判読システムの開発 ○平出 尚義・今村 功一(RESTEC)・田殿 武雄・平山 颯太(JAXA EORC)・奈佐原(西田)顕郎(筑波大学)・道津 正徳・佐竹 峻・大串 文美(RESTEC)
A	10	Dual-Scenario Projections of Land Use Transformations for 2030 in Ibaraki Prefecture's Coastline Under Japan's Population Contraction Using Machine Learning Paradigm Mohammadreza Safabakhshpachehenari・Hideyuki Tonooka(Ibaraki Univ.)
A	11	日本全域のサブメートルレベル土地被覆地図作成 ○横矢 直人(東京大学)・J. Xia・C. Broni-Bediako(理化学研究所革新知能統合研究センター)
陸域3 (A会場, 11月22日(水) 9:15-10:30)		
A	12	複数の地球観測センサーを組み合わせてインドネシアの陸上国立公園の植生動態をモニタリング ファトゥワ ラムダニ(筑波大学)・Riswan Sianturi・Putri Setiani(Universitas Brawijaya)
A	13	時系列衛星画像と機械学習を用いた釧路湿原の植生変化 棚橋 廉(都立大・院)・中山 大地・松山 洋(都立大)
A	14	植生群落における太陽光誘起蛍光のリモートセンシングによる広域画像技術の開発 ○栗山 健二(静岡大学)
A	15	ひまわり8号の陸面反射率による植生のClumping Indexの推定 喬治・楊偉(千葉大学)
A	16	GCOM-C/SGLI衛星データを用いた全球植生フェノロジーのモニタリング 張 淋寧・李 夢禹・楊 偉(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
陸域4 (A会場, 11月22日(水) 10:40-11:55)		
A	17	光学リモートセンシングによる放牧を自粛した牧草地の時空間変化の観測 ○慕希叶・米澤 千夏(東北大)
A	18	北海道芽室町における小麦のNDVIと生育要素の関係の調査 - Sentinel-2観測に基づく生育過程を考慮した小麦の収量推定に向けて - ○岩崎 千沙・下田 星児・杉浦 綾・石原 光則(農研機構)
A	19	Texture Extraction for Detecting Disease on Paddy Using UAV Data and Machine Learning Arif K Wijayanto(ボゴール農科大学)・Sahid Agustian Hudjimartu(Ibn Khaldun University)・Lilik B Prasetyo(ボゴール農科大学)・Gunardi Sigit(Regional Office of Food Crops Service West Java Province)・本郷千春(千葉大学)
A	20	ハイパースペクトル計測による土壌炭素マッピングと肥沃度のパラつき解消・炭素貯留量増強への利用 ○井上 吉雄・吉野 邦彦・細井 文樹(東京大学大学院)
A	21	ALOS-2/PALSAR-2データを用いたユーカリ植林地における下層植生密度の推定 小林祥子(玉川大学農学部)
陸域5 (A会場, 11月22日(水) 13:00-14:30)		
A	22	FY-3EのMERSI-LL地表面温度プロダクト検証について 劉治彦・市井和仁・山本雄平・王汝慈(千葉大学)・小林秀樹(国立海洋開発機構)・植山雅仁(大阪公立大学)
A	23	都市における地表面熱収支シミュレーションの高精度化と空間展開 平野 勇二郎・一ノ瀬 俊明(国立環境研究所)・大橋 唯太(岡山理科大学)・白木 洋平(立正大)・大西 暁生(横浜市立大)・吉田 友紀子(茨城大)
A	24	画像生成AIと画像マッチングを利用した衛星画像と立体都市データの位置合わせ法 ○坂上 峻仁・荒巻 紀子・濡木 融(NEC航空宇宙システム)
A	25	マルチスペクトルデータを用いた岩種・岩級判別の精度検証 ○鶴田亮介・佐々木 淳((株)安藤 間)
A	26	宇宙ライダー観測における高精度地盤推定手法の開発 三橋 怜・澤田義人(JAXA)・筒井健(株式会社NTTデータ)・今井正・住田泰史(JAXA)
A	27	空撮用手持ち型赤外カメラシステム:STIC-PIによる火山観測 ○貫淵 哲也(防災科研)
システム・観測機器 (A会場, 11月22日(水) 14:40-16:10)		
A	28	火山表面現象計測用の冷却型マルチバンド赤外カメラ:SPIC-Cの開発 ○貫淵 哲也(防災科研)
A	29	Pi-SAR X3の準リアルタイムデータ伝送システム 児島 正一郎・花土 弘・佐藤晋介(NICT)
A	30	SfM-3D動画に対する錯視誘発リアルタイム画像特徴強調・判読支援策 ○是津 智紀(東理大)・古木 宏和(日本工営)・小島 尚人(東理大)
A	31	画像特徴分析支援のための比演算処理を適用したシュードカラー動画の提案 ○辻本 圭・千明 大樹(東理大)・古木 宏和(日本工営)・小島 尚人(東理大)
A	32	熊本地震の現地写真を用いた畳み込みニューラルネットワークに基づいた地震被害レベル分類手法 ○ウー カイ・松岡 昌志・押尾 晴樹(東工大)
A	33	画像特徴領域内分析のための発見的な分析支援策 ○小島 尚人(東理大)・古木 宏和(日本工営)・是津 智紀・辻本 圭(東理大)
水域1 (B会場, 11月22日(水) 9:15-10:15)		
B	1	衛星観測と機械学習を用いた湖沼からのメタン排出量の推定 小田理人(千葉大院)・楊偉(千葉大)・山田基(信州大院)・岩田 拓記(信州大)
B	2	水域検出における2偏波SARの擬似エントロピーの活用について 木戸洋斗・島田 政信(東京電機大)
B	3	ひまわり8号の海面温度による海洋熱波の高精度検出 肖琦・楊偉(千葉大学)
B	4	高濁度水域における固定角度後方散乱センサーの測定値に生じる不確実性の解析 出野 亮太・比嘉 紘士(横国大)

水域2 (B会場, 11月22日(水) 10:40-11:55)			
B	5	機械学習を利用したGCOM-C SGLIデータによる漂流軽石の自動検出法の検討	○伊東 聖永・作野 裕司(広島大)
B	6	時空間TV法を用いたクロロフィルa濃度分布の欠測領域補完	○小川 裕也・高橋 智博・虎谷 充浩(東海大学情報技術センター)・緒方 一紀(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
B	7	実測反射率データとSentinel-3データを用いた瀬戸内海のクロロフィル推定モデルの提案と検証	高澤薫平・作野裕司(広島大)
B	8	Sentinel-2データを使った宍道湖のアオコと水草の分離アルゴリズムの適用	木崎 駿(広島大学)
B	9	機械学習を使った瀬戸内海におけるガラモとアマモの分類方法についての研究	宋 詩林・作野 裕司(広島大)
雪氷・大気 (B会場, 11月22日(水) 13:00-13:45)			
B	10	CryoSat-2/SIRALを用いた白瀬水河浮舌の東西流線における氷厚分布	○佐竹 祐里奈・中村 和樹(日大)
B	11	白瀬水河における流動速度変動と氷山座礁の流動速度への影響	○大川 翔太郎(総研大)・土井 浩一郎・青山 雄一(極地研)・中村 和樹(日大工学部)
B	12	太陽追尾型赤外分光装置を用いた地上と気象庁観測船によるXCO2観測ネットワーク	今須 良一・新井 豊・山田 杏璃(東京大学大気海洋研究所)・松見 豊(名古屋大学)・向井 人史・森野 勇(国立環境研究所)
特別セッション (雪氷)(B会場, 11月21日(火) 10:00-11:30)			
S	1	CバンドSARによるウラジオストック沖定着氷観測	○若林裕之(日本大学)・長 幸平(東海大学)
S	2	海水タンクによる海水の成長速度を制御したマイクロ波放射特性の観測実験	○中山 雅茂(北海道教育大学釧路校)・直木 和弘(東海大学情報技術センター)・谷川 朋範(気象庁気象研究所)・長 幸平(東海大学情報技術センター)
S	3	AMSR2海水密度推定における大気の影響を低減するWeather Filterの開発	長 幸平・直木 和弘(東海大)
S	4	大気-積雪-海水系の偏光放射伝達モデルの開発と雪氷面上大気エアロゾル観測の可能性	○谷川 朋範・増田 一彦・石元 裕史(気象庁気象研究所)
特別セッション (ドローン・国土防災)(B会場, 11月21日(火) 16:00-17:20)			
S	5	湖面直上を対象としたDOAS法におけるCO2濃度の計測と検証	○田中 俊亮・桑原 裕史(茨城大)・久世 宏明(千葉大)
S	6	東アジア・東南アジア沿岸域の浸水エリア推定における堤防データの効果	○中井 優貴・桑原 祐史・横木 裕宗(茨城大)
実利用(ポスター) (P会場, 11月21日(火) 14:40-15:50 (U1)-(U7))			
U	1	準リアルタイム森林施業モニタリングのための高頻度観測衛星データを用いた全自動伐採地検出アルゴリズムの開発	○林 悠介((株)エフバイオス)・村田 裕樹(東京大学)・井筒 憲司・木下紗綺((株)エフバイオス)
U	2	AIモデル群を用いた、日本全国・4時期/年の森林変化検出の試み	渡邊 学(東京電機大学、合同会社森林付箋)・島田政信(東京電機大学)
U	3	リモートセンシングデータのクビアカツヤカミキリ防除に対する活用方法の検討	○安達 勇介・山本 純平・吉田 大智・小田川 信哉・石井 景子(RESTEC)
U	4	マルチソース変化抽出システムの開発	○安達 勇介・齊藤 蔵人・佳山 一帆・瓜田 真司・栗田 充喜・平松 真宙・平野 晴也・佐藤 鞠江・出原 真理子・住田 桃子・山之内 勤・古田 竜一・黒岩 かおり・石井 景子(RESTEC)
U	5	光学衛星データを活用した土砂流出推定範囲の抽出 -2021年の豪雨災害における長野県・佐賀県での解析例-	○秋田寛己・平春・田口仁(NIED)
U	6	Cloud Optimized GeoTIFFおよびSpatioTemporal Asset Catalogsを用いた 衛星リモートセンシングデータによる海上モニタリングシステムの設計	○緒方 一紀・Eko Siswanto(JAMSTEC)・虎谷 充浩(東海大学)・河村 耕平(JAXA)
U	7	一般道路を対象にしたSAR強度画像による舗装損傷推定に関する基礎的研究	○張 辰吉・松岡 昌志・押尾晴樹(東京工業大学)
実利用 (B会場, 11月22日(水) 14:40-15:55)			
U	8	ALOS-2の教育利用のための簡易リフレクターの開発	○高橋 徹(大分高専)・臼井 敏夫(STU研究所)・藤島 豊久(藤栄通信工業(株))・大木 真人(JAXA EORC)・小定 弘和(日本宇宙少年団)・高倉 慎・高橋 昌士(大分高専)
U	9	オルソ画像超解像に関する画像劣化の影響	小林 洋平・佐藤 俊明・篠原 孝之・小平 肇・伊東 里保・島崎 康信((株)パスコ)
U	10	SSAレーダー観測データへのISAR処理適用結果の報告	○本多 優一・薙野 綾・石井 知子(NEC航空宇宙システム)
U	11	多時期航空機レーザ計測データを用いた2018年北海道胆振東部地震における斜面崩壊の把握	○劉 ウェン(千葉大)・山崎 文雄(防災科学技術研究所)・(株)大崎総合研究所
U	12	農業現場におけるUAV空撮画像からの物体列検出技術の利用	○柴田 悟志・巧 裕樹・西内 俊策(名大・院生命農学)
ポスターセッション (P会場, 11月21日(火) 14:40-15:50 (P1)-(P39) コアタイム: 偶数番号 15:10-15:50/奇数番号 14:40-15:20)			
P	1	DTMを用いた干渉SARパラメータ推定手法の衛星SARへの適用	○上本純平(NICT)
P	2	森林計画図および林相区分図を基にしたスギとヒノキの判別	○祖父江 侑紀(東京大学大学院農学生命科学研究科)・村田 裕樹(東京大学先端科学技術研究センター)・竹島 喜芳(中部大学国際GISセンター)・香坂 玲(東京大学大学院農学生命科学研究科)
P	3	UAVで撮影した海岸漂着流木の深層学習による自動抽出	○福田 陽一郎・山口 勝透(道総研)
P	4	DInSARを用いた融雪期の地すべり変動観測一同程度の積雪でも干渉性に多寡が生じた事例	○宇佐見 星弥(道総研)・田殿 武雄(JAXA)・石丸 聡(道総研)
P	5	高空間分解能DSMからの沿岸域市街地のDTM生成におけるGANの有効性	○押尾 晴樹・松岡 昌志(東工大)
P	6	UAVレーザ計測を用いた森林下の古墳計測のための地盤高計測の評価	○米 康充・三代 祥司(鳥根大)・内田 律雄・曳野 律夫・松本 岩雄(本庄考古学研究室)
P	7	水稲群落点群の鉛直分布推定モデルの試作	柳沼 謙伸・磯野 柊二(長岡技術科学大学大学院修士課程)・中村 健(長岡技術科学大学)・Anh Thu Thi Phan(Vietnam National University-Hochiminh City University of Technology)・高橋一義(長岡技術科学大学)
P	8	Sentinel-2/MSIデータを用いた大規模ソーラーパネル抽出手法の検討	佐藤 康党(東海大学情報技術センター)・大矢 雅史(株式会社 帝国書院)・高橋智博(東海大学情報技術センター)
P	9	雪面形状を考慮したMMS点群による堆雪深計測の評価	小林 桃子・木歩士 理来(長岡技術科学大学大学院修士課程)・中村 健(長岡技術科学大学)・竹内 祐真(株式会社 長岡計器)・山倉 祐也(株式会社 スノーテック新潟)・高橋 一義(長岡技術科学大学)
P	10	多時期衛星画像を用いたトドマツ人工林における不成績造林地の抽出	蝦名益仁(北海道立総合研究機構)

P	11	GEDIを用いた樹冠高推定精度に林分環境が与える影響の分析	小幡進午(森林総合研究所)
P	12	高頻度C-band SAR観測による時系列情報を利用した樹種分類に関する調査	○儀久 恵太・今岡 啓治・新銀 秀徳・小河原 加久治(山口大学)
P	13	廉価なドローンLiDARシステムを用いた水稲生育計測におけるレーザースポット形状が及ぼす影響の検討	○磯野 柊二・柳沼 謙伸(長岡技術科学大学大学院修士課程)・中村 健(長岡技術科学大学)・Anh Thu Thi Phan(Vietnam National University-Hochiminh City University of Technology)・高橋 一義(長岡技術科学大学)
P	14	ドローン点群データによる日本の人工林に対する樹木検知	Yiliu Tan(筑波大学)・Yupan Zhang・Chen-Wei Chiu・恩田裕一(筑波大学 放射能・アイソトープ地球システム研究センター)・李宗晟(筑波大学)
P	15	深層学習による高空間分解能衛星画像からの堤防抽出(その2)	夏 浩・外岡 秀行(茨城大)
P	16	Sentinel-1 データを用いた2021年ハイチ地震の被害解析	平河内 翔太・若林 裕之(日大)
P	17	ASTER時系列DEMデータを用いた開発途上国におけるオープンダンプサイトの廃棄物量モニタリング	○武藤 美有希・外岡 秀行(茨城大)
P	18	実測分光反射率データを用いた瀬戸内海のアマモとアオサの判別可能性評価	飯塚 みなみ(広島大学)
P	19	UAVを用いた稲の生育状況と植被率の比較	○徳永 迅・伊藤 征嗣(広工大)
P	20	深層学習を用いた大豆の莢形状の自動抽出の検討	○井上 大輔・牧 雅康(福島大学)
P	21	近接 NDVI 測定による水稲生育観測の検討	西村文音・今岡啓治・新銀秀徳・小河原加久治(山口大)
P	22	時系列な夜間光衛星画像を用いた新型コロナウイルス流行による街の明るさ変化の調査	○関根 望結(日大・理工学部・大学院)・羽柴 秀樹・園部 雅史(日大・理工学部・土木工学科)
P	23	クロロフィルa蛍光画像計測手法を用いた植物病害の可視化の検討	○佐藤 優花(福島大)・牧 雅康・菅波 真央(福島大)
P	24	モンゴル高原におけるAMSR2の土壌水分プロダクト検証のためのデータ相互比較と時空間変動の特徴抽出の試み	○樋口 淳紀(松江工業高等専門学校 生産・建設システム工学専攻)・広瀬 望(松江工業高等専門学校 環境・建設工学科)
P	25	衛星熱赤外画像疑似可視カラー変換の夜間画像への適用性評価	鈴木 隼弥・外岡 秀行(茨城大)
P	26	Sentinel-1/2時系列データを用いた秋吉台における土壌水分量の追跡	○上田 雅都・今岡 啓治・新銀 秀徳・小河原 加久治(山口大学)・開発 一郎(広島大学)・藤川 将之(秋吉台科学博物館)・荒木 陽子(大阪市立自然史博物館)
P	27	UAVと人工衛星によるダイズほ場の観測画像の比較	○横山 亮平・米澤 千夏(東北大)・松波 寿典(農研機構東北農業研究センター)・高村 光輝・天谷 香織・市川 健(復建技術コンサルタント)
P	28	Sentinel-2/MSIデータを用いたインド・パンジャブ州における 野焼き跡地抽出のための指標	○六倉 理乃(奈良女子大)・村松加奈子(奈良女大)
P	29	ランダムフォレストによるハイパースペクトル鉱物マップ拡張手法の特性解析(1)	坪松秀紀・外岡秀行(茨城大)
P	30	衛星データを用いた乾燥帯地域の湖沼域抽出に関する研究 —イラクムサンナ県サワ湖の事例—	○木村 甲・小西 智久(広工大)
P	31	超小型衛星CE-SAT-IIB画像を用いた夜間のコンテナターミナル稼働状況の把握	○村田 裕樹(東大先端研)・柴崎 隆一(東大院)・井村 直人(東大先端研)・西成 活裕(東大院)
P	32	UAV搭載可視近赤外カメラを用いた猪苗代湖の水生植物モニタリング	○影山陽大・若林裕之(日本大学)
P	33	Sentinel-1 SARデータを用いたため池の水位モニタリングの可能性	○石河良汰(広大)・(空白)
P	34	新型近赤外マルチスペクトルカメラを用いた海洋プラスチック種判別の可能性	浦 駿介(広島大学)
P	35	時系列光学画像を用いた海水氷リード分布画像生成のための海水移動補正	竹下 敬汰・外岡 秀行(茨城大)
P	36	衛星データ同化による海塩粒子の広域予測を目的とした複数のデータ比較に基づく基礎的検討	広瀬望(松江工業高等専門学校)・大谷健翔(出雲市役所)・大屋誠・武邊勝道(松江工業高等専門学校)
P	37	可視近赤外カメラのラジオメトリック精度評価と物体変化検出への応用	○佐藤 慶一・若林 裕之(日大)・牧 雅康(福島大)
P	38	産総研における大規模衛星画像アーカイブとweb公開サービスの展開	神山 徹・織田 篤嗣・加藤 創史・杉本 隆・有馬 悠也・伊藤 稜・堤 千明・中村 良介(AIST)
P	39	ライブカメラ画像を用いたCNNによる路面濡れの判定	○高瀬 久年・齊藤 玄敏・中村 雅之・紅林 亘(弘前大)